



Slingshot T-Oneランチャー ユーザーマニュアル

Slinger Slingshot T-Oneランチャーをご使用になる前に

・バッテリーの接続を行ってください。

(保管・輸送時のバッテリーのトラブルを防ぐため、バッテリーは本体のケーブルと繋がっていません。一旦バッテリーケースを外して本体内部のケーブルと繋ぐ工程が必要です。)

・バッテリーの充電を行ってください。

バッテリーの接続・充電の方法については下記URLをご参照ください。

<https://www.youtube.com/c/SlingerBagjp/featured>

・Slinger Slingshot T-Oneランチャー及びその付属品の製造上の欠陥(初期不良)に対する保証期間はご購入より1年間となります。

※製品の保証は最初のご購入者に限定され、別の所有者に譲渡することはできません。

もくじ

● 安全上のご注意	3
● 警告	4
● Slingshot T-Oneランチャーの主な機能	5
● Slingshot T-Oneランチャー各部の名称	6・7
● バッテリーと充電器について	8・9
● バッテリーの取り外し方法	10・11・12
● 角度調整装置	13
● コントロールパネル各部の名称と働き	14・15
● クイックスタート操作説明書(Slingshot T-Oneランチャーのみ使用時)	16
● クイックスタート操作説明書(Slingshot T-Oneランチャー及びオシレーター使用時)	17・18
● リモートコントローラー操作説明	19
リモコンの交換方法	
● 充電LEDライト、オシレーターLEDライト	20
● コート上への配置方法	21・22
● 保管方法、メンテナンス	23
● 保証規定とアフターサービス	24
● トラブルシューティング	25・26
● グローバルコンプライアンス	27・28・29
● 廃棄物処理法	29
● エネルギー消費量	29

Slinger創始者のジョーです。

私はテニスが好きで、毎日何時間もテニスを楽しんでいます。

こんな私ですから、毎日付き合ってくれるパートナーを見つけられず困っていました。ある日パートナーの代わりにテニスクラブ用ボールマシーンを試すことにしたのですが、コートに持ち出してケーブルと電源を探すのに30分、操作マニュアルと格闘するもイライラがつのるばかりで、結局その日の練習はお預けになりました。

そんな経験から、機能的なテニス用トロリーバッグにボールマシーンを組み込むというアイデアが生まれました。軽量で、持ち運び可能で、汎用性があるテニスボールランチャー”Slinger”を開発するプロセスがはっきりとした特別な瞬間でした。

テニスに必要なギアをひとまとめに収納でき、どこでも数分で準備できるSlinger Slingshot T-Oneランチャーは、私の新しい親友であり、いつでも一緒にプレーができるテニスパートナーです！

Enjoy Slinger® – Your 24 / 7 Tennis Partner.



創始者 ジョー・カルファ

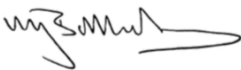
Slinger CEOのマイクです。

プレーヤー、コーチ、ビジネスリーダーとして長きにわたりテニスに関わってきた私は、テニスという素晴らしいゲームを誰しもが、いつでも楽しめるようにすることが一番大切であると考えています。

経営、設計、生産、調達チームと一丸となって創始者ジョーのコンセプトを、Slinger Slingshot T-Oneランチャーへと形にすることができました。

何千時間にも及ぶデザイン、プロトタイプ作成、コート内外でのテストにより実用レベルまで高められたSlinger Slingshot T-Oneランチャーは様々な練習に対応できる、あなたの理想的なパートナーになることでしょう。

If You Like Tennis... You'll Love Slinger.



CEO マイク



安全上のご注意



Slinger Slingshot T-Oneランチャーは、14.4Vリチウムイオンバッテリーを使用した電動ボールマシーンです。同梱の充電器はSlinger Slingshot T-Oneランチャー専用です。他のリチウムイオンバッテリーの充電には使用しないでください。

ランチャーのメンテナンス等を含め、ボール排出口に近づく際には電源ケーブルが外れていることと、電源が「OFF」になっていることを必ずご確認ください。

Slinger Slingshot T-Oneランチャーは、安全上の理由から付属のリモコンでのみ作動します。リモコンの置忘れ等に十分にご注意ください。

リモコンの動作距離は約5mです。ランチャーから動作距離よりも離れた場所や周辺の電波の影響を受けている場合などはリモコンが反応しないことがあります。

- 電源が「ON」のとき、絶対にボール排出口に近づかないでください。
- 電源が「ON」のとき、絶対にボール排出口を覗き込まないでください。
- 電源が「ON」のとき、絶対にボール排出口の前に立たないでください。
- 電源を「ON」にしたまま、絶対に異物をボール排出装置に入れないでください。
- 雨天時や、水たまりのできたテニスコートでは絶対に使用しないでください。



ON ●



ON ●



ON ●



ON ●



ON ●



ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
ランチャーの取り扱いは、このユーザーマニュアルをよくお読みになったうえで行ってください。

1. 感電の恐れがあるので、ランチャーを絶対に水に浸けたり濡らさないでください。
2. 子供の近くでランチャーを使用する際は、厳重に注意してください。
3. ランチャーの動作中は、ボール排出口の前を歩かないでください。テニスボールは高速で排出されるので、深刻な傷害を引き起こす可能性があります。
4. ボールスピード等の設定を変更するときは、必ずランチャーの横、もしくは後ろで行ってください。
5. ボールが詰まった際は、電源が「OFF」になっていることと、ホイールが止まっていることをご確認のうえ、作業してください。
6. ランチャーの修理・調整にあたっては、必ず保護眼鏡を着用してください。
7. 電源ケーブルが接続されているときは、ランチャーの修理・調整は絶対にしないでください。必ず電源を「OFF」にして、充電器がコンセントに接続されていないことをご確認ください。
8. このランチャーに、テニスボール以外を使用しないでください。ステージボール等、サイズの異なるボール、他の種類のボールや異物と一緒に使用しないでください。
9. 使用していないとき、およびバッテリーの充電中は、必ず電源が「OFF」になっていることをご確認ください。
10. 可動部、特にボール取り込み口やホイールの近くに絶対に手などを置かないでください。電源を切ってもホイールは直ぐに止まりません。触れるとけがや火傷の恐れがあります。
11. 本製品のリモコンは、電波法関連法令により日本国内での使用に限られ、海外での使用はできません。

Slingshot T-Oneランチャーには、テニスボールの使用を推奨します。T-Oneランチャーを最適な状態でご使用いただくには、ボールにしっかりと空気が入っていることをご確認ください。古くなり傷んだボールや、空気圧がバラバラのボールを使用すると、正しく機能しない可能性があります。

Slingshot T-Oneランチャーは、あらゆる年齢・レベルのテニスプレーヤーが使用できるように設計されています。

Slingshot T-Oneランチャーの重量は15kg/33lbs(テニスボールを除く)です。これは、市場で最も軽いボールマシンの1つです。トロリーバッグは汎用性、機能性があり、テニスギアをすべて持ち運ぶことができます。ランチャーは、数分で準備でき使用することが可能です。

Slingshot T-Oneランチャーには以下のような機能があります。

- 多彩な収納ポケットを備えたテニス用トロリーバッグ。
- 2～7秒の間でのボール供給間隔の調整。
- 10mphから45mph(16km/hから73km/h)までの範囲でのボールスピードの調整。ボールスピードが速くなる程、トップスピン量が増えます。
- ボールパーソンとして使用したり、トーナメントレベルのトップスピンボールを受けることもできます。(アンダースピン(=スライス)のボールは出せません)
- 10～40度の範囲でボール排出角度を調整可能。
- 最大144球収納可能ですが、最適な機能を発揮するためには72球で使用することを推奨します。
- リチウムイオンバッテリーで稼働。ボールスピードと供給間隔の設定状況により、稼働時間は変わります。
- **バッテリーを充電する際は、熱がこもらないように、ランチャーの外にバッテリーを出して充電してください。連続して5時間以上充電しないでください。**
- 携帯電話が充電できるUSB端子付属。(USB端子を使うと本体の稼働時間が短くなります)
- ボール排出装置とオシレーター(セット販売または別売りオプション)を操作できるリモートコントローラー付属。
- オシレーター(セット販売または別売りオプション)。首振り機能を搭載。





1 収納式ハンドル



2 カメラホルダー
(取り外し可能)



3 ボールピックアップ
チューブ取付フック



4 USB端子、収納ポケット



5 収納ポケット
(リモコン収納可)



6 角度調整装置



7 シリアル番号



8 コントロールパネル



9 ハンドル



10 バッテリーケース



11ボール排出口カバー



12 ボール取り込み口
カバー



13 ボール取り込み口



14 ボール取り込み回転盤



15 大容量収納スペース



16 ボールピックアップ
チューブ



17 オシレーター



18 リモートコントローラー

バッテリーについて

Slinger Slingshot T-Oneランチャーは14.4Vリチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーの出荷に関する連邦規定に基づき、最大30%の充電状態で出荷されます。

ご使用になる前に、バッテリーを完全に充電してください。

連続して5時間以上は充電しないでください。

バッテリー駆動時間は平均的な強度で使用した場合で、およそ3.5時間です。

バッテリーの接続方法

納品の時点では、保管・輸送時のバッテリーのトラブルを防ぐため、バッテリーは本体のケーブルと繋がっていません。一旦バッテリーケースを外して本体内部のケーブルと繋ぐ工程が必要です。バッテリーの接続は次の手順で行ってください。

- ・ボール排出口カバーを開けます。
- ・バッテリーケースの4隅のネジを外し、バッテリーケースを取り出します。
- ・内部からバッテリーコネクタを引き出します。
- ・バッテリーケースとコネクタをしっかりと接続します。
- ・バッテリーケースを本体にセットし、4隅のネジを締めます。

充電器の組立方法

- ・4つのプラグから日本用のプラグを選んでください。
- ・プラグを充電器に接続をしてください。その際「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
※プラグがしっかりと接続されていないとバッテリーが充電されません。
- ・充電器をコンセントに挿し込んでください。充電器のランプが緑色に点灯します。
- ・充電器のコネクタをバッテリーの充電器接続コネクタに挿し込んでください。
※コネクタがしっかりと挿し込まれていることを確認してください。
- ・バッテリーが満充電でなければ、充電器が赤色に点灯し、充電が行われます。
充電が完了すると、充電器のランプが緑色に変わります。充電が完了したら直ちに充電器をバッテリーから外してください。
※バッテリーの過熱を防ぐために、連続して5時間以上充電しないでください。
- ・充電器がバッテリー及びコンセントに接続された状態でランチャーを使用することはできません。バッテリーに取り返しのつかないダメージを与えてしまう可能性があります。

バッテリー寿命の最大化

バッテリーの適正な性能を確保するために、次のことに注意してください。

- ・ご使用になる前に、バッテリーを完全に充電してください。
連続して5時間以上は充電しないでください。
- ・リチウムイオンバッテリーは「満充電のとき」と「放電し切った状態のとき」に一番劣化が進みます。保管時は30～50%程度(充電ランプ1～2個点灯)の充電量をお勧めします。
- ・バッテリーを充電する際は、熱がこもらないようにランチャー本体よりバッテリーを取り外していただき、本体の外で充電を行ってください。
- ・リチウムイオンバッテリーは内部の化学反応で電気の出し入れをします。劣化も同じ化学反応ですので、化学反応し難い20℃以下の環境で保管してください。
内部で結露しますので冷凍はしないでください。
真夏の自動車のダッシュボードは80℃位まで温度上昇しますので、車内保管はしないでください。

バッテリーの充電方法

充電器を使用してバッテリーを充電するには、次の手順で行ってください。

バッテリーを充電する際は、必ず専用の電源アダプターを使用してください。

- ・充電をされる際は、熱がこもらないようにランチャー本体の外にバッテリーを出して充電してください。
- ・充電器のプラグから日本用のプラグを選び、充電器にしっかりと接続をしてください。
- ・充電器のコネクターをバッテリーの充電器接続コネクターに挿し込んでください。
- ・連続して5時間以上充電しないでください。
- ・ご使用になる前に満充電にすることをお勧めします。
- ・充電器が正しく差し込まれているときは、充電ライトが点灯します。
バッテリー充電中は赤色に、完全に充電されているときは緑色に点灯します。
充電が完了したら、直ちに充電器をバッテリーから外してください。
- ・充電が完了しても充電器を接続したままにしておくと、バッテリーの劣化が進みます。

バッテリーの取り外し方法

※スリンガーバッグの電源を「OFF」にしてください。



バッテリーケース

ステップ①

バッテリーの4つのネジを外してください。



ステップ②

4つのネジを無くさないように、ネジ穴に戻るか、左右のポケットに入れてください。



バッテリーケース

ステップ③

バッテリーケースを少し出してください。



ランチャーケーブル

ステップ④

ランチャーケーブルをバッテリーケースから外してください。





充電器接続コネクタ

ステップ⑤

バッテリーケースを取り出し、
充電器接続コネクタの
カバーを開けてください。



ステップ⑥

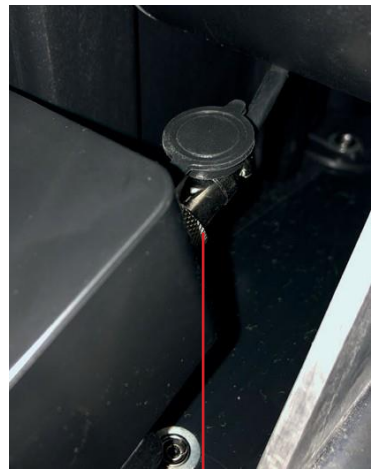
充電器をバッテリーの充電器接続コネクタに
挿し込んでください。

- ・充電ランプが赤色: 充電中
- ・充電ランプが緑色: 充電完了



ステップ⑦

バッテリーの充電が完了したら、充電器を外してください。
本体接続コネクタのカバーを開けてください。
バッテリーケースを本体に少し入れて、本体と接続してください。



ランチャーケーブル



NG

OK

ケーブル固定ネジ



NG

ケーブル固定ネジ



OK



バッテリーケース

ステップ⑧

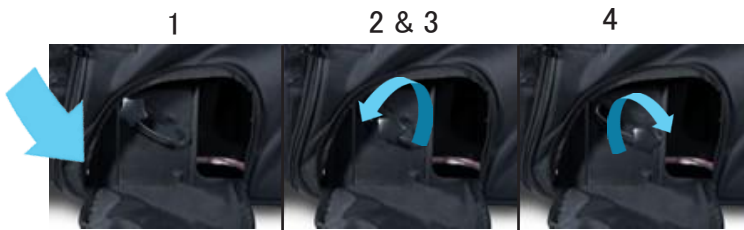
バッテリーケースを奥まで入れて、
4つのネジで固定してください。

角度調整装置

角度調整装置を調整することで、ボールの排出角度を10～40度の範囲で変更できます。

1. 角度調整装置カバーを開けます。
2. 調整ノブを反時計回りに回して緩めます。
3. 排出角度を調整します。
4. 調整ノブを時計回りに回して、しっかりと固定します。

※重要： 振動や騒音を避けるために、調整ノブでしっかりと固定してください。

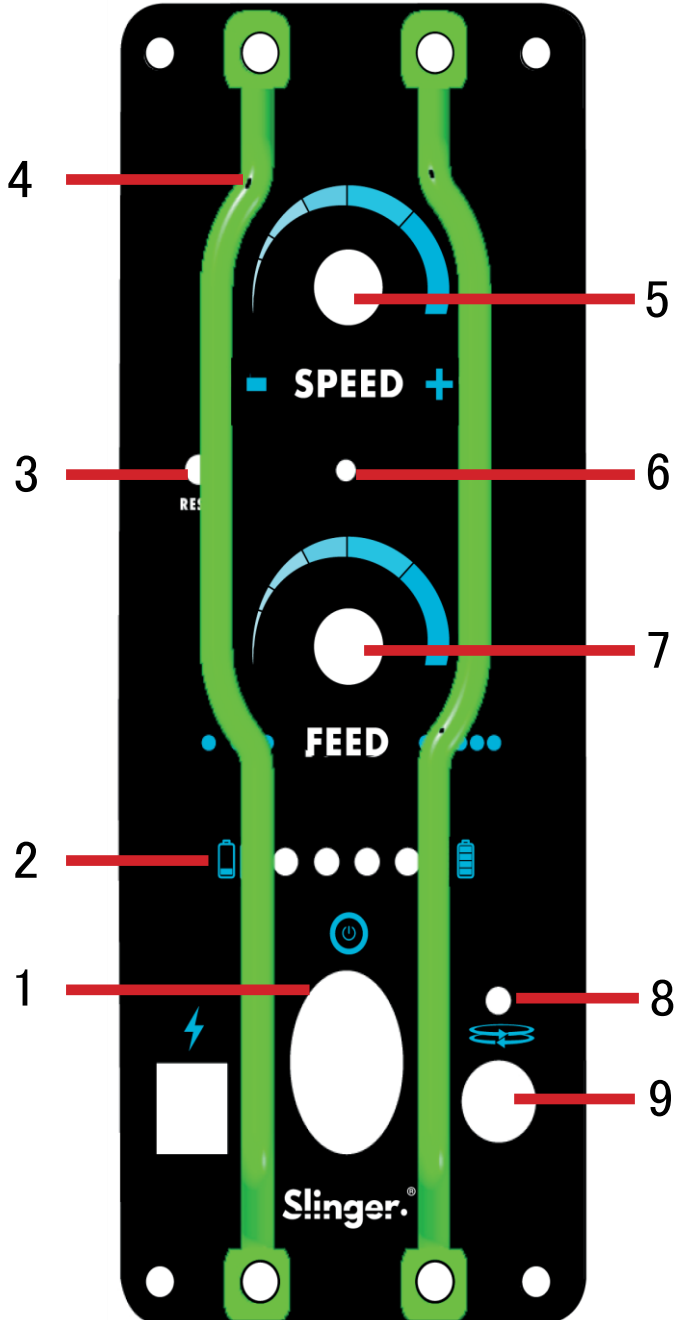


Slinger.

CHANGE THE GAME

コントロールパネル

1. 電源スイッチ : ランチャーの電源「ON/OFF」を行います。
※リモコンはランチャー本体の電源「ON/OFF」を行うことはできません。
コントロールパネルの電源が入っている状態で、ランチャーの操作を行うことができるリモコンです。
※電源スイッチの「ON/OFF」を時間を置かずに繰り返すと、コントロールパネルに損傷を与える恐れがあります。
2. 充電ライト : バッテリーが完全に充電されていると、4つのランプが点灯します。
充電ライトの色は左から赤・黄・緑・緑です。
※ランチャーホイール回転時は充電ライトは連続で点滅します。
バッテリーの充電がなくなると充電ライトは消えます。
緑及び黄のランプは1つでバッテリー充電量の1/3を表します。
赤ランプのみ点灯している場合はすぐにバッテリーが空になるサインです。
3. リモートコントローラーのリセットボタン : リモコンの再設定や交換をする場合、19ページの「リモートコントローラー操作説明書」をご参照ください。
4. ガードバー : コントロールパネルを保護し、ボール等による破損を防ぎます。
※このガードバーは取り外さないでください。取り外した場合、保証の対象外となります。
5. ボールスピード調整つまみ : 排出されるボールスピードを調整します。
ボールパーソンとして使用できる16km/hの低速から、トーナメントレベルのトップスピンがかかった73km/hのスピードまで調整可能です。
6. スピーカー : ランチャーを次のように操作すると「ピー」という音が鳴ります。
 - ・短い「ピー」音 : Slingshot T-Oneランチャーを「ON」にしたとき。
 - ・短い「ピー」音 : リモコンの「ON/OFF」ボタンを押したとき。
 - ・長い「ピー」音 : リモコンのランチャー「ON/OFF」ボタンを押した後、ボール取り込み板が回転し始めたとき。
 - ・短い「ピー」音 : 電源スイッチを押して「OFF」にしたとき。
7. ボール供給間隔調整つまみ : ボールの供給間隔を2〜7秒の間で調整します。
8. オシレーターLED : リモコンのオシレーターボタンを押した後、オシレーターが「ON」になったとき点灯します。
9. オシレーターコネクター : ケーブルをオシレーターに接続するための磁気コネクター。



クイックスタート操作説明書

(Slingshot T-Oneランチャーのみ使用時)

コートで使用する前にバッテリーを完全に充電してください。充電については9ページの通り、連続して5時間以上充電しないでください。

以下クイックスタート操作説明書に従ってください。

1. Slingshot T-Oneランチャーをコート上に置いてください。プレーレベルに合わせて、推奨位置(22ページ)をご参照ください。
2. ランチャー下側のボール排出口カバーを開いて、カバーをランチャー左側のD管に固定してください。
3. ボール取り込み口カバーを開きます。ボール取り込み板に異物がないことを確認し、ボールを入れてください。テニスボールが最大144球使用できますが、72球で最適に稼働するように設計されています。
4. コントロールパネルの調整つまみで、“SPEED=ボールスピード”、“FEED=ボール供給間隔”をプレーレベル、内容に合わせて調整してください。

ランチャー右側の角度調整装置カバーを開きます。

10～40度の間で、プレーレベル、内容に合わせて、“ボール排出角度”を調整してください。

※22ページをご参照ください。

※角度調整ノブはしっかりと固定してください。

5. ランチャーの電源を「ON」にします。
6. リモコン上部の「ON/OFF」ボタンをランチャーに向けて1回押して、ボール取り込み装置を作動させると、動作を知らせる「ピー」という音が鳴ります。
7. 1回目の「ピー」音の後、10秒程度で2回目の「ピー」音が鳴ります。
しばらくするとボールが出てきます。
8. 練習を始めてください。

クイックスタート操作説明書

(Slingshot T-Oneランチャー及びオシレーター使用時)

コートで使用する前にバッテリーを完全に充電してください。充電については9ページの通り、連続して5時間以上充電しないでください。

以下クイックスタート操作説明書に従ってください。

1. オシレーターをコート上に置いてください。プレーレベルに合わせて、推奨位置(22ページ)をご参照ください。
2. オシレーターの上部にあるSlingerロゴがネット側に向いており、ランチャー車輪用の溝が後方にあることを確認します。
3. Slingshot T-Oneランチャーをオシレーターの上にセットし、ランチャーの車輪がオシレーターの溝に正しくセットされていることを確認します。
4. ランチャー下側のボール排出口カバーを開いて、カバーをランチャー左側のD管に固定してください。
5. オシレーターケーブルを、ランチャーコントロールパネルのオシレーターコネクタに接続します。
※オシレーター作動前にオシレーター可動部分がオシレーターの真ん中にあることを確認してください。
※リモコン下部のオシレーター「ON/OFF」ボタンを押すと「ピー」という音とともにオシレーターコネクタ近くのランプが緑色に点灯することを確認してください。
6. ボール取り込み口カバーを開きます。ボール取り込み板に異物がないことを確認し、ボールを入れてください。テニスボールが最大144球使用できますが、72球で最適に稼働するように設計されています。
7. コントロールパネルの調整つまみで、“SPEED=ボールスピード”、“FEED=ボール供給間隔”をプレーレベル、内容に合わせて調整してください。

ランチャー右側の角度調整装置カバーを開きます。

10～40度の間で、プレーレベル、内容に合わせて、“ボール排出角度”を調整してください。

※22ページをご参照ください。

※角度調整ノブはしっかりと固定してください。

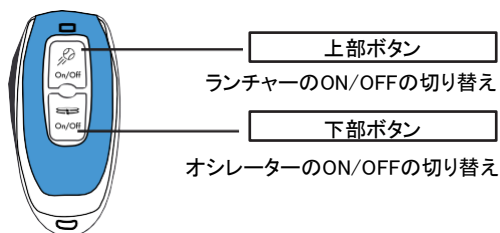
8. ランチャーの電源を「ON」にします。
9. リモコン上部の「ON/OFF」ボタンをランチャーに向けて1回押して、ボール取り込み装置を作動させると動作を知らせる「ピー」という音が鳴ります。
リモコン下部の「ON/OFF」ボタンをランチャーに向けて1回押して、オシレーターを作動させます。
10. 1回目の「ピー」音の後、10秒程度で2回目の「ピー」音が鳴ります。
しばらくするとボールが出てきます。
11. 練習を始めてください。

リモートコントローラー操作説明書

Slinger Slingshot T-Oneランチャーは、安全上の理由から付属のリモコンでのみ作動します。リモコンの置忘れ等に十分にご注意ください。

リモコンの動作距離は約5mです。ランチャーから動作距離よりも離れた場所や周辺の電波の影響を受けている場合などはリモコンが反応しないことがあります。

リモコンには2つのボタンがあります。



リモコンの交換方法

リモコンを交換する必要がある場合は、次の手順に従って新しいリモコンをランチャーと同期させてください。

・<https://www.youtube.com/c/SlingerBagjp/featured>のビデオをご参照ください。
(下記の手順と同じ内容です)

- ・ランチャー内部及び回転盤にボールがないことを確認してください。
- ・ランチャーのスイッチを入れます。
- ・細いピンのようなもので、コントロールパネルのリセットボタン(P.15 #3)を8回押します。
- ・3～5秒待ちます。
- ・リモコンのボタン(どのボタンでも可)を押して同期を完了します。
- ・新しいリモコンでの操作が可能になります。
- ・※上記方法で同期が完了しない場合は、8回リセットボタンを押す動作を、「1回」にして進めてみて下さい。

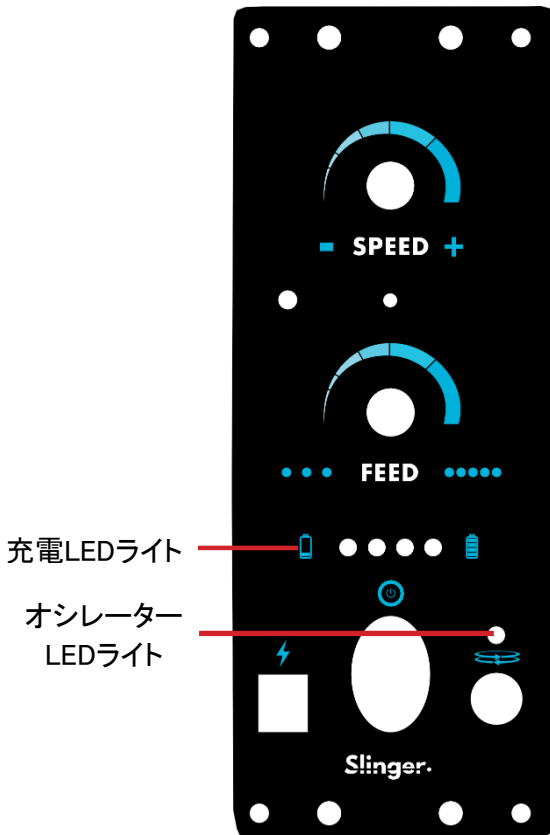
充電LEDライト

コントロールパネルの充電LEDライトはバッテリー残量を表します。

- ・赤色点灯 : 充電残量が少ない状態
- ・赤色、黄色が点灯 : 充電残量が中くらいの状態
- ・赤色、黄色、緑色、緑色が点灯 : 満充電の状態

オシレーターLEDライト

リモコンのオシレーターボタン(下部ボタン)を押すと、緑色に点灯します。
(オシレーターはセット販売または別売りオプション)



コート上への配置方法

Slingshot T-Oneランチャーのコート上への配置は、主に、ボールスピード及びボール排出角度の設定により変わります。

※使用するテニスボールの品質や状態、屋内外の気象条件もランチャーのコート上への配置に影響します。以下の図は、主にストローク練習向けの推奨位置です。

ボールパーソンとして使用(サービス練習に有効)

配置場所：Slingshot T-Oneランチャーを、プレーヤーと同じ側のコートのサイドライン付近にセットします。

ボール排出角度：ボール排出バーを40度にセットします。

ボールスピード：最小位置にセットします。

ボール供給間隔：最小位置にセットします。

初級者向け

配置場所：Slingshot T-Oneランチャーを、プレーヤーと反対側のコートのサービスライン付近にセットします。

ボール排出角度：ボール排出バーを30度にセットします。

ボールスピード：最小位置にセットします。

ボール供給間隔：最小位置にセットします。

中級者向け

配置場所：Slingshot T-Oneランチャーを、プレーヤーと反対側のコートのサービスラインとベースラインの間付近にセットします。

ボール排出角度：ボール排出バーを20度にセットします。

ボールスピード：時計の12時の位置にセットします。

ボール供給間隔：時計の12時の位置にセットします。

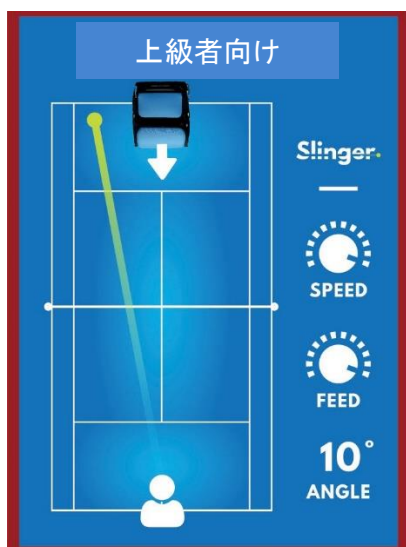
上級者向け

配置場所：Slingshot T-Oneランチャーをプレーヤーと反対側のコートのベースライン付近にセットします。

ボール排出角度：ボール排出バーを10度にセットします。

ボールスピード：最大位置にセットします。

ボール供給間隔：最大位置にセットします。



保管方法

ランチャーを使用しないときは、以下の通り、適切な方法で保管してください。

- ・保管場所は、乾燥した清潔な場所を選んでください。
- ・風、雨、太陽光などに過度にさらされると、電子部品に損傷を与える可能性があり、Slingshot T-Oneランチャーの故障の原因となります。
- ・20℃以下の環境で保管してください。真夏の自動車のダッシュボードは80℃位まで温度上昇します。車内保管はしないでください。

出荷前検品

すべてのSlingshot T-Oneランチャーは出荷前に検品されています。この動作確認により、ランチャー内部もしくは表面にフェルトのカス等が付着する可能性があります。また、ボールの跡が残る可能性があります。

メンテナンス

※必ず電源を「OFF」にして、充電器がコンセントに接続されていないことをご確認ください。使用後、フェルトのカスやコートの砂埃等が、ランチャーのボール排出口に蓄積することがあります。除去する場合は下記をご参照ください。

- ・エアダスターを使用して除去してください。
- ・湿った布を使用して拭き取ってください。
- ・Slingshot T-Oneランチャーの表面を鋭利な物でこすったり、研磨剤や溶剤を使用しないでください。
- ・内部にカスや砂埃等が残った場合は掃除機で吸い取ってください。
- ・内部に残ったカスや砂埃等を除去しようとして、機械内部に水をかけたりしないでください。バッテリーや電子部品に損傷を与える可能性があります。また、感電の恐れがあり危険です。



CHANGE THE GAME

保証規定とアフターサービス

Slinger Slingshot T-Oneランチャー及びその付属品について、ご購入より1年間の保証期間内の製造上の欠陥(初期不良)に対して、保証規定に従いアフターサービスを行います。

製造上の欠陥に対する**保証期間は1年**で、シリアル番号によって管理されています。
※製品の保証は最初のご購入者に限定され、別の所有者に譲渡することはできません。

シリアル番号



トラブルシューティング

問題	原因	対応方法
ボールが出てこない。	ボール取り込み 回転盤もしくは ボール排出口に ボールが詰まっている。	電源を「OFF」 にし、回転盤が止まったことを確認してから、詰まったボールを取り出します。
ボールが出てこない。	テニスボール、もしくは ホイールが濡れている。	電源を「OFF」 にし、ホイールが止まったことを確認してから、ホイールとボールを乾かしてください。 濡れているボールは取り除いてください。
ボール取り込み 回転盤が回転しない。	テニスボールが詰まっているか、ボール取り込み 回転盤が過負荷の状態。	電源を「OFF」 にし、回転盤が止まったことを確認してから、詰まったボールを取り出します。
ボール取り込み 回転盤が回転しない。	バッテリー残量が少なく、 リモコン「ON」ボタンを押しても回転しない。	バッテリーを充電してください。
ボール取り込み 回転盤が回転しない。	バッテリーを充電しても 回転しない。	お問い合わせください。
騒音・振動が大きすぎる。	ボール排出角度調整ノブ が緩んでいる。	ボール排出角度調整ノブをしっかりと締めてください。

問題	原因	対応方法
バッテリーが 充電されない。	充電器のケーブル がしっかりと接続 されていない。	全ての接続を確認してくださ い。充電器のアダプターが しっかりと接続されていること を確認してください。
オシレーターが 動かない。	オシレーターケーブルの 磁気コネクタに砂や ほこりが付着している。	コントロールパネル側と オシレーターケーブル側の 磁気コネクタに付着している 砂やほこりを取り除いてください。
オシレーターが 動かない。	リモコンのボタンが作動して いない。	リモコンの下部ボタンを押すと、 コントロールパネルの オシレーター接続箇所の上が 緑色に点灯します。
オシレーターが 動かない。	接続部分の砂やほこり、 バッテリー等の接続を確認 しても動かない。	お問い合わせください。
ボールピックアップチ ューブが伸縮しない。	砂やほこりが詰まってい る。	両端を二人で持って回してみてく ださい。 シャワーで洗い流すのも有効で す。 それでも伸縮しない場合は、 お問い合わせください。

Slinger.

CHANGE THE GAME

グローバルコンプライアンス



Europe

CB

CE



RoHS
COMPLIANT



Category	Product	Certification	Certification Standards
Launcher	6.6Ah Battery	CB	• IEC 62133-2:2017 • EN 62133-2:2017
		CE EMC	• EN 61000-6-3:2007+A1:2011+AC:2012 • EN IEC 61000-6-1:2019 • EN IEC 61000-3-2:2019 • EN 61000-3-3:2013+A1:2019
	2A Power Charger	CB	• IEC 61558-1:2005+A1 • IEC 61558-2-16:2009+A1
		CE-EMC & CE-LVD	• EN 55014-1:2007 • EN 55014-2:2015 • EN IEC 61000-3-2:2019 • EN 61000-3-3:2013 • EN 61558-1:2005+A1 • EN 61558-2-16:2009+A1
		RoHS	European Council Directive 2011/65/EU on the Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment
		GS	• EN 61558-1:2005+A1 • EN 61558-2-16:2009+A1
	6300RPM Big Motor	CE	• EN 55014-1:2006/A2:2011 • EN 55014-2:1997/A2:2008
		RoHS	2011/65/EU Restriction of Hazardous Substances
	Launcher Gear Motor	CE-EMC	• EN 61000-6-3:2007+A1:2011 • EN IEC 61000-6-1:2019
		RoHS	• IEC 62321-3-1:2013 • IEC 62351-5:2013 • IEC 62321-4:2013+AMD1:2017 • IEC 62321-7-1:2015 • IEC 62321-7-2:2017 • IEC 62321-6:2015 • IEC 62321-8:2017



Europe



RoHS
COMPLIANT

REACH

CE

Category	Product	Certification	Certification Standards
Launcher	PCB	RoHS (for LF HASL)	• RoHS Directive (EU) 2015/863 amending Annex II to Directive 2011/65/EU • IEC 62321-4:2013+A1:2017 • IEC62321-5:2013 • IEC62321-7-2:2017 • IEC62321-6:2015 • IEC62321-8:2017 • Analyzed ICP-OES, UV-Vis, and GC-MS
		REACH (for SVHC)	• SGS In-House method- GZTC CHEM-TOP-092-01, GZTC CHEM-TOP-092-02 • Analyzed by ICP-OES, UV-VIS, GC-MS, HPLC-DAD/MS and Colorimetric Method
	433MHz Remote Control	CE Red	• Radio Equipment Directive (RED) 2014/53/EU • EN 62479:2010 • EN 50663:2017 • Final draft EN 301 489-1 V2.2.2(2019-09) • EN 301 489-3 V2.1.1(2019-03) • EN 300 220-1 V3.1.1 (2017-02) • EN 300 220-2 V3.1.1 (2017-02)
Oscillator	Oscillator Gear Motor	CE-EMC	• EN 61000-6-3:2007+A1:2011 • EN 61000-6-1:2019
		RoHS	• IEC 62321-3-1:2013 • IEC 62351-5:2013 • IEC 62321-4:2013+AMD1:2017 • IEC 62321-7-1:2015 • IEC 62321-7-2:2017 • IEC 62321-6:2015 • IEC 62321-8:2017
Ball Tube		CE	• EN 71-1:2014+A1:2018 • EN 71-2:2011+A1:2014 • EN 71-3:2013+A3:2018



IC

California 65
ASTM

Category	Product	Certification	Certification Standards
Launcher	2A Charger	FCC	• FCC Part 15 Subpart B, 10-1-2014 Edition
		UL/ CUL	• UL 60950-1, 2nd Edition, 2014-10-14 (<i>Information Technology Equipment - Safety- Part 1: General Requirements</i>) • CAN/ CSA C22.2 No. 60950-1-07, 2nd Edition, 2014-10 (<i>Information Technology Equipment - Safety - Part I: General Requirements</i>)
		Argentina Safety-Mark License	• IEC 61558-1:2005+A1 • IEC 61558-2-16:2009+A1 • IRAM 2063:2009
	PCB	UL (for Wiring, Printed- Component)	
	433 MHz Remote Control	FCC	• FCC Part 15, Subpart C, Section 15.231 • ASNI C63.10-2013
		IC	• RSS-210 Issue 9 Aug, 2016
	Trolley Bag	California 65 (for Fabric & Printing)	
Ball Tube		Consumer Safety Specification for Toy Safety	• ASTM F963-17



Category	Product	Certification	Certification Standards
Launcher	6.6Ah Battery	KC	• KC62133-2 (2020-07)
		PSE	• Interpretation for METI Ordinance of Technical Requirements (H25.07.01) Appendix 9: Lithium ion secondary batteries
		BSMI	• CNS15364
		BIS	• IS 16046 (Part 2):2018/ IEC 62133-2:2017
		RCM	• EN 61000-6-3:2007+A1:2011+AC:2012 ; • EN IEC 61000-6-1:2019 ; EN IEC 61000-3-2:2019 • EN 61000-3-3:2013+A1:2019 ; IEC 62133-2:2017
	2A Charger	SAA	• AS/ NZS 61558.1:2008+A1+A2+A3 • AS/ NZS 61558.2.16:2010+A1+A2+A3
		CCC	• CNCA-C09-01:2014 • GB4943.1-2011 • GB/T9254-2008 • GB17625.1-2012
		PSE	• Interpretation on Ministerial Ordinance establishing Technical Requirements Appendix 12: J61558-1(H26), J61558-2-16(H26), J55014-1(H20) • Appendix 4 of the Enforcement Regulations (AC Electrical Appliances)
		KC & KCC	• K 60950-1(2011-12) • Clause 3, Article 58-2 of Radio Waves Act.
	433 MHz Remote Control	KC RF	• Clause 3, Article 58-2 of Radio Waves Act.
	315 MHz Remote Control	MIC	• Technical Regulations Conformity Certification of Special Radio equipment (ordinance of MPT N° 37, 1981) • ARIB STD-T93 V1.1 (2007-09)

Category	Product	Certification	Certification Standards
Launcher	6.6Ah Battery	UN38.3	• ST/SG/AC.10/11/Rev.6/Amend.1/Section 38.3
		Material Safety Data Sheet (MSDS)	• EEC Directive 93/112/EC • UN Recommendation on the Transport of Dangerous Goods
		Identification and Classification Report for Air Transport of Goods	• IATA Dangerous Goods Regulations • IATA DGR 61 ST , 2020 • IATA DGR 62 ND , 2021
		Identification and Classification Report for Transport of Goods (By Sea)	• IMDG CODE (Amdt 39-18)
		Lithium Cells for Battery Test Summary	• UN Manual of Tests and Criteria Part III Subsection 38.3, Rev.6/Amend.1

廃棄物処理法

本製品の処分は「廃棄物処理法(1970年12月25日制定)」により、「廃棄物」として処分しなければなりません。特にリチウムイオンバッテリーはそのまま粗大ごみとして廃棄すると、事故を起こす可能性がありますので、バッテリーは分別して各市町村の処分方法に従ってください。

エネルギー消費量

指令2009/125/ECに従って、このランチャーには電源装置が備え付けられています。以下のエネルギー消費量が目安になります(コンセント部分の電力を測定)。

電源が「OFF」のとき = 0W

電源が「ON」のとき = 120W